

**第2期総合戦略の進捗状況 及び
総合戦略関連事業の令和3年度実績について**

令和4年10月18日

太良町

戦略人口(目標人口)の推計と実績

	趨勢人口	戦略人口	実績	戦略人口との比較	説明
2020年(令和2年)	8,091人	8,179人	8,121人	△ 58人	8,121人(実績)は令和2年国勢調査による確定値
2021年(令和3年)	7,927人	8,100人	7,990人	△ 110人	7,990人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口
2022年(令和4年)	7,763人	8,020人	7,879人	△ 141人	7,879人(実績)は令和2年国勢調査による確定値を基に、毎月の人口移動数を加減して算出した推計人口(令和4年9月1日現在)
2023年(令和5年)	7,599人	7,940人			
2024年(令和6年)	7,435人	7,860人			
2025年(令和7年)	7,271人	7,780人			

毎年164人減

毎年80人減

※ 趨勢人口、戦略人口及び実績の人口は「国勢調査」の数値を基に算出していますので、各年10月1日現在の人口を表しています。

※ 趨勢人口とは、総合戦略による戦略的な人口政策の取り組みを想定しない場合の将来人口を表しています。

基本目標 1 安定した雇用を創出する

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
納税義務者一人当たり課税対象所得	2,527千円	2,557千円	2,525千円	2,668千円			2,600千円

② 重要業績評価指標（KPI）

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
就業の場の 拡大	認定農業者数	130人	135人	139人	131人			145人
	新規農業者数 (親元就農給付金認定者)	8人 (累計)	10人 (累計)	11人 (累計)	13人 (累計)			15人 (累計)
	漁家数（経営体）	187戸	181戸	179戸	160戸			177戸
	後継者育成補助事業の利用者数	32人 (累計)	37人 (累計)	40人 (累計)	61人 (累計)			39人 (累計)
	太良町中小企業融資件数	17件	18件	11件	7件			25件

基本目標 1

安定した雇用を創出する

③ 令和3年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
就業の場の 拡大	親元就農支援事業 [農林水産課・農政係]	<p>【実績】 農業従事者の高齢化が進展する中、将来の太良町農業の担い手を確保し育成することを目的に、農業後継者として親元で就農した者（50歳未満）に給付金を給付した。（給付件数：7名、給付額：252万円）</p> <p>【評価】 農業後継者の担い手確保は緊急の重要課題であり、継続的な基幹産業の活動に必要である。当該事業は国の交付金事業の対象とならない農業後継者に対応しており、幅広い担い手の確保対策として有効である。</p>
	農業次世代人材投資事業 [農林水産課・農政係]	<p>【実績】 次世代を担う農業者となることを志向する経営開始直後の独立・自営の新規就農者（50歳未満）に対し資金を交付した。（交付件数：5名 [内夫婦1組]、交付額：675万円）</p> <p>【評価】 農業後継者の担い手確保は緊急の重要課題であり、継続的な基幹産業の活動に必要である。独立・自営で交付対象となる就農計画に基づき新規就農者になるためには大きなリスクを伴うため、年間150万円の支援は有効である。</p>
	漁業従事者事業継続支援事業 [農林水産課・水産係]	<p>【実績】 漁業従事者の高齢化が進展する中、将来の太良町漁業の担い手を確保し育成することを目的に、40歳以下の漁業後継者に対し給付金を給付した。（給付件数：19名、給付額：684万円）</p> <p>【評価】 当該事業は漁業経営の安定化に一定の効果をもたらしているが、あくまでも本業の助成として考えている。漁業従事者が年々減少しつつある現状では、本事業のような側面での漁業者支援は行政施策として重要であると考えられる。</p>
	中小企業融資預託貸付事業 [企画商工課・商工係]	<p>【実績】 町内の中小企業の維持発展を図るため事業資金の融資を行った。（融資件数：7件、融資額：2529万円）</p> <p>【評価】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度に保証料・金利ゼロのセーフティネットへの借り換えが進み、当事業の融資は減少した。しかしながら、今後感染が収束すれば、当事業を利用する企業が増加することが見込まれるため、今後も事業を継続する必要がある。</p>

基本目標 2

新しい人の流れをつくる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
移動数（転入－転出）	▲ 244人 (H27～H30累計)	▲ 258人 (H28～R1累計)	▲ 266人 (H29～R2累計)	▲ 209人 (H30～R3累計)			▲ 240人 (R2～R5累計)
交流人口（観光客数）	657,200人	639,000人	616,500人	524,500人			690,000人
若者人口（15～39歳）	1,798人	1,734人	1,666人	1,620人			1,662人

② 重要業績評価指標（KPI）

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
移住・定住 の促進	定住促進住宅建設戸数	40戸 (累計)	40戸 (累計)	52戸 (累計)	52戸 (累計)			52戸 (累計)
	空き家情報バンク制度による成 約件数	14件 (累計)	16件 (累計)	17件 (累計)	21件 (累計)			24件 (累計)
交流の拡大	観光消費額	2,508,074千円	2,655,941千円	2,748,731千円	2,561,041千円			2,636,000千円
	観光情報ホームページの閲覧件 数	173,921件	229,943件	231,467件	270,222件			300,000件
	ふるさと応援寄附件数	79,557件	85,704件	98,805件	93,105件			81,000件

基本目標 2

新しい人の流れをつくる

③ 令和3年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
移住・定住 の促進	移住定住促進事業 [企画商工課・企画情報係]	【実績】 移住・定住の促進及び空き家の有効活用を図るため、空き家情報バンクに登録された空き家の改修、解体等に係る経費に対して補助金を交付した。(交付件数：18件、交付額：678万7千円) 【評価】 移住4世帯(12人)、定住3世帯(11人)で人口減少の抑制に効果があった。引き続き、さまざまな広報媒体を用いて本事業の周知を行い、空き家情報バンクの登録物件の充実を図り、更なる移住・定住の促進と空き家の有効活用に取り組みたい。
	民間賃貸住宅等建設促進事業 [企画商工課・企画情報係]	【実績】 町民の住環境の向上と移住・定住の促進を図るため、民間賃貸住宅等の建設費用に対して補助金を交付した。(交付件数：2棟(16戸)、交付額：2400万円) 【評価】 移住者14人、定住者7人で人口減少の抑制に効果があった。当該アパートはすぐに満室となり、入居者の多くが29歳以下であるため、若者世代の民間アパートへの需要は高いものと考えられ、若者の町外流出を防ぐためにも本事業を推進していきたい。
交流の拡大	観光客誘客事業 [企画商工課・観光係]	【実績】 太良町観光協会が実施する観光客誘客事業へ補助金を交付した。事業内容は、町内旅館への宿泊を「佐賀支え愛」と併用できる制度として1泊6千円の補助を行い、4,983名の利用があった。また、「夏カニフェス」と銘打ち、9月22日から10月15日まで竹崎カニにまつわるサービスを各旅館負担で実施され、イベント広報をポスター掲示やJR博多駅へのデジタルサイネージで行った。そのほか、旅館等の利用者向けに太良町のカレンダーを作成し配布した。(交付額：約3400万円) 【評価】 コロナ禍で全国旅行サービスの停止など観光需要が低迷する中、旅館利用者への宿泊補助や、夏カニフェスの広報、観光客へのカレンダー配布などを実施し観光客の誘客につながった。新型コロナウイルス感染症の流行状況や、国の旅行支援制度を見極めながら、今後も誘客事業に取り組んでいきたい。
	多良岳広域観光地域づくり事業 [学校教育課・学校教育係]	【実績】 太良町と諫早市の共同で設置した「歴史の道観光・文化交流推進協議会」が実施する広域観光事業に対し補助金を交付した。事業内容は、街道案内人育成講習会(2回)、ホームページの運営管理、多良海道写真展(諫早市美術歴史館)、街道の環境整備等を実施した。なお、街道歩きイベントは新型コロナウイルスにより見送りとなった。(事業費総額：225万6千円[太良町負担：78万9千円、諫早市負担：146万7千円]) 【評価】 これまで歴史の道百選に選定された「多良海道」の整備と保全活動を行ってきた。今後も観光資源として活用することを目的とした事業を計画しており、まずは街道歩きイベント事業を再開できるよう取り組みたい。
	ふるさと応援寄附金事業 [財政課・管財係]	【実績】 令和3年度の寄附件数は93,105件、寄附金額は約9億7855万円であった。 【評価】 令和2年度実績より減額となったが、新規返礼品の掘り起こしや既存の返礼品のブラッシュアップを進め、寄附者獲得に取り組みたい。

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
合計特殊出生率	1.59	1.51	1.43	1.75			1.69

② 重要業績評価指標 (KPI)

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
出産希望の 実現	子育て世代包括支援センターの 設置	0箇所	0箇所	1箇所	1箇所			1箇所
	保育所入所待機児童	0人	0人	0人	0人			0人
	結婚祝金受給者数(成婚カップル 数)	81組 (H27~H30累計)	78組 (H28~R1累計)	73組 (H29~R2累計)	74組 (H30~R3累計)			83組 (R2~R5累計)
	出生数	206人 (H27~H30累計)	209人 (H28~R1累計)	204人 (H29~R2累計)	192人 (H30~R3累計)			232人 (R2~R5累計)

基本目標 3

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

③ 令和3年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
出産希望の 実現	結婚祝金・誕生祝金補助事業 [町民福祉課・子育て支援係]	<p>【実績】未婚者の婚姻を奨励するとともに、人口減少を抑制し若者世代の定住を図るため結婚祝金を交付した。 (交付件数：21件、交付額：420万円) また、次代を担う子供たちの誕生を祝い、健やかで健全な発育を応援するとともに、人口減少の抑制を図るため誕生祝金を交付した。(交付件数：42件、交付額：615万円)</p> <p>【評価】結婚数や出生数に効果を見出すためには、若い世代の移住・定住に結びつくようにハード面での対策も取り組んでいく必要があると考える。</p>
	第2子保育料無料化事業 [町民福祉課・子育て支援係]	<p>【実績】子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、同時に2人以上の子どもを入所させている第2子分の保育料の無料化を行った。(交付対象：7名、交付額：約90万円)</p> <p>【評価】子育て世帯の経済的負担の軽減が図られた。</p>
	保育所等副食費補助事業 [町民福祉課・子育て支援係]	<p>【実績】子育て世代の経済的負担の軽減を図るため、保育所に入所している3歳以上の子どもの副食費の全額補助を行った。(交付対象：102名、交付額：469万3千円)</p> <p>【評価】子育て世帯の経済的負担の軽減が図られた。また、町内保育所での徴収事務の負担も軽減された。</p>
	入学祝金・卒業祝金補助事業 [学校教育課・学校教育係]	<p>【実績】子育て支援の一環として、小学校・高校の入学準備などに係る費用の経済的負担の軽減を図るとともに、太良町における人口の増加を奨励し、児童生徒の健全育成、資質の向上、家庭生活の安定を図ることを目的に祝金を支給した。(入学祝金：3万円×54名=162万円、卒業祝金：3万円×86名=258万円)</p> <p>【評価】今後も太良町の子育て支援施策として事業を継続する。</p>
	学校給食費補助事業 [学校教育課・給食センター係]	<p>【実績】保護者の教育費の負担を軽減し、家庭生活環境の向上と安心して子どもを産み育てやすい環境づくりを支援するため、町内に住所を有する児童・生徒で、町内の小中学校に通学する児童・生徒の保護者に学校給食費の全額補助を行った。(交付対象：556名、交付額：約2806万円)</p> <p>【評価】学校給食費の補助(無料化)は保護者の経済的な負担の軽減となっており、少子化対策や教育環境の向上と安心して子育てができる環境づくりを実現するため、今後も支援を継続する必要がある。</p>

基本目標 4

人が集い、安心して暮らすことができるまちをつくる

① 数値目標

数値目標	現状値	実績値					目標値
	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
町民アンケートで「太良町に住み続けたい」 町民の割合	68.3%	—	—	—	—		73.3%

② 重要業績評価指標（KPI）

施策の 枠組み	指標	現状値	実績値					目標値
		平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和5年度 (2023年度)
身近な移動 手段の確保	コミュニティバスの利用者数	0人	0人	3,654人	7,792人			13,520人
	道路の整備状況についての満足 度	37.2%	—	—	—	—		43.0%
人が集い、 活動できる コミュニ ティづくり	補助金活用コミュニティ数 (累計)	37件	44件 (累計)	48件 (累計)	51件 (累計)			62件 (累計)
	コミュニティ活動やボランティ ア活動に参加したい町民の割合	45.0%	—	—	—	—		50.0%

基本目標 4

人が集い、安心して暮らすことができるまちをつくる

③ 令和3年度に取り組んだ主な事業

施策の 枠組み	事業名	事業実績・担当課評価
身近な移動 手段の確保	コミュニティバス運行事業 [企画商工課・商工係]	【実績】交通弱者の移動手段を確保するためコミュニティバスを運行した。 (利用者：7,792人、運賃収入：79万2千円、事業費：約2461万円) 【評価】地域公共交通を維持するためには欠かせない事業であるため、今後も継続して運行する必要がある。
	町道整備事業 [建設課・建設係]	【実績】町道利用者の安全性、利便性の向上を図るため、町道の改良、舗装の打替え、橋梁補修事業等を実施した。 (改良：3件、舗装：7件、橋梁：3件、事業費：1億8146万8千円) また、令和2年の豪雨災害による町道の復旧工事(26件)を施工した。 【評価】町道は住民生活に欠かせない重要なライフラインであり、各地区から改良等の要望も多数出ており、町道利用者の満足度を上げるためにも工法・改良区間等の精査を行い、国の補助事業や過疎対策事業債(地方債)等を活用し事業の進捗を図る必要がある。
人が集い、 活動できる コミュニ ティづくり	コミュニティ活動支援事業 [企画商工課・企画情報係]	【実績】コミュニティ活動の場となる地区公民館等の施設の充実を図るため、設備(備品)の整備に係る費用に対して補助金を交付した。(交付件数：3件、交付額：34万4千円) 【評価】人口減少や少子高齢化が自治会等のコミュニティ活動に影響を及ぼしており、将来にわたって持続可能なコミュニティ活動の促進を図るため、今後も支援を継続する必要がある。